


# 太陽

THE SUN, monthly deluxe

12 / '65  no.30

特集

スピード時代の乗用車

日本のなかの朝鮮人





# 名誉大賞を 受賞!

優雅なスタイルに軽快さをひめたコンテッサークーベは このほどイタリアで開かれた第5回国際自動車エレガンス・コンクールにおいて 堂々名誉大賞を受賞しました  
世界中の名車が参加して行なわれたこのコンクールは エレガンス美をはじめ居住性走行性など総合的に審査するものです

日野の優れた技術力とミケロッチェのデザインがみごととけ合ったコンテッサークーベは総合性能で世界一流と認められたのです  
世界を走る栄光の車 コンテッサークーベはハイ・センスなあなたにふさわしいスポーティでゴージャスなプライベートカーです

日野

**コンテッサークーベ**

4人乗り・65馬力  
最高時速145キロ以上  
SU式ツインキャブ  
ディスクブレーキ装備

**Hino** 日野自動車

申し分のない  
コンテッサークーベ  
伯爵夫人

国産乗用自動車も急速に良くなって、それぞれの車に各自特有の性質があり、どれが一番良いなどは軽率に云えなくなって来た。その中で私がこの10年来リア・エンジンの車ばかり6台を愛用して来たのは、リア・エンジンの車が好きだからなので、コンテッサー1300クーベは、そのメカニズムとスタイリングで、私の最も気に入っている車なのである。

メカニズムの点から云えば、エンジンは欧米の小型エンジンのどれにもひけをとらないし、操向、ブレーキ等何の問題もない。ガソリンを食わないのは意外で、気持ちよく走った1000キロ近いドライブを数回やって

いるが、燃費は常にリットル当り14キロ前後である。或るテスト・コースで時速130キロで暫らく走ったが、エンジンは静かでオーバー・ヒートの気味は全くなかった。だから、欧車なみの巡航速度は持っていると云える。ところが、都会地の混雑の中で欧車はよくオーバー・ヒートするが、この車は毎日東京の混雑の中を走っていて別に変わったところはない。私としては文句のつけようがないのである。スタイリングについては、私もかつて行ったことのあるイタリアのアラッシオのコンクールで名誉大賞をもらったと云う実績があり、私は何もつけ加える必要がない。

日野と云う会社は大変にジミで、コンテッサー・クーベもその車重や大きさから云えば、1500ccクラスのエンジンを積んでもよいと思われるのに、日本の顧客を考慮して1300にとどめているようである。日本の国内はこれでよいが、聞く所によれば欧州へも輸出されるそうで、その場合、エンジンの馬力増大についてはよくよく考えて、適正なところを出すべきではないだろうか。

それは兎も角として、ルノー4CVの組立てから、短時日の間にこれまで勉強した日野の技術陣に敬意を表すると共に、今後とも家族のドライブや旅行にクーベを大いに利用しようと思う。

桶谷 繁雄



